

雅歌の内在的な意義にしたがって
主に対するわたしたちの愛を保持することによって、
主の出現を愛する

聖書：雅 1:2-4. 2:8-9. 3:9-10. 4:12-16. 6:10, 13. 7:11. 8:13-14

- I. 雅歌は一つの詩であり、その主題は一つの卓越した結婚における愛の歴史です。それが啓示しているのは、個人の信者とキリストとの愛の交わりの進展する経験であり、それは六つの主要な段階において彼の花嫁の用意を整えるためです——啓 19:7-9. マタイ 25:6-13. 啓 3:18-22. ゼカリヤ 4:1-6, 11-14. Iヨハネ 4:19. 詩 110:3, 119:140:
- A. 雅歌の第一段階において、キリストを愛する者は引き寄せられ彼を追い求めて、満足を得ます (1:2 — 2:7)。主は、彼を尋ね求める者が彼との個人的で、愛情深い、私的で、霊的な関係を持つことを願っています (1:2, 4)。すべての霊的な原則が、尋ね求める者の勝利を得る生活のこの第一段階に含まれています。それに続く学課は新しいものではなく、さらに深い方法で繰り返された以前からある学課です。
- B. 雅歌の第二段階において、キリストを愛する者は召されて、キリストの十字架との一を通して自己から解放されます——雅 2:8 — 3:5:
1. 雅歌第2章8節から9節は、復活の活力について語っています。これらの節において、キリストは、「山々を飛び越え、丘の上を跳びはねて」いるかもしかや若い雄鹿にたとえられています。山々と丘は、困難や障害を指しています。しかし、復活のキリストを妨げるような高くて大きいものではありません。山々を飛び越え、丘の上を飛び跳ねるキリストの臨在を、わたしたちは尋ね求め、認識する必要があります。
 2. キリストを愛する者は内省に陥ります。それは壁として隔離するものとなり、彼女をキリストの臨在から遠ざけます (雅 2:9 後半)。このゆえに、キリストは、彼女が起き上がり、低い状態から出て来て、彼と共にいるようにと励まします (10-13 節)。
 3. わたしたちの天然の力によってではなく、復活の力によって、わたしたちキリストを愛する者たちは、彼の十字架と一となることによって彼の死に同形化されることができま (14-15 節)。わたしたちはミングリングされた霊の中でキリストの復活にあずかり、経験します。キリストの復活によってわたしたちは十字架と一となり、自己から救い出され、神の新創造における新しい人へと造り変えられて、有機的なキリストのからだを建造することにおいて神のエコノミーを成就します (ローマ 8:2, 4, 29. ガラテヤ 6:15. IIコリント 5:17)。
- C. 雅歌の第三段階において、キリストを愛する者は復活の中の新創造として、召されて昇天の中で生きます——雅 3:6 — 5:1:
1. 昇天の中で生きるとは、絶えずわたしたちの霊の中で生きることです。わたしたちは霊の中で生きるとき、天上の昇天したキリストに結び付けられます——エペソ 2:22. 創 28:12-17. ヨハネ 1:51. 啓 4:1-2. ヘブル 4:12, 16 とフットノート 1。
 2. わたしたちの中でのその霊の造り変える働きによって、わたしたちはキリストの行動する器、キリストが乗るもの、キリストの「車」となります。それはキリストが、キリストのからだの中で、キリストのからだのために行動するためです——雅 3:9-10. 参照、IIコリント 2:12-17。
 3. わたしたちは神聖な三一で再建造されます。それによってわたしたちの外側の構造は、復活し昇天したイエスの人性となり、わたしたちの内側の装飾は、主に対するわたしたちの愛となります——雅 3:9-10。
 4. キリストを愛する者は、キリストの昇天の中で生きることを通して、復活における新創造として、キリストの命の豊富において円熟します。それによって彼女は、キリストが

私的に享受するためのキリストの園となります (4:12-15)。彼女はあらゆる状況や環境においてキリストの香りを漂わせる用意ができています (16 節)。

D. 雅歌の第四段階において、キリストを愛する者はさらに強く召されて、復活の後の十字架を通して、幕の内側で生きます——雅 5:2 — 6:13 :

1. キリストを愛する者は、幕の内側で生きることによって、造り変えられて天の光体となります。彼女は夜明けの光のように見え、月のように美しく、太陽のように明るいのです—— 10 節。
2. キリストを愛する者はキリストの命の円熟において、シュラムの女 (ソロモンの女性形) となります。これが表徴するのは、彼女が命、性質、表現、機能において (神格においてではない)、キリストと同じになっており、キリストの複製また複写として、彼に符合して彼と結婚するということです—— 13 節. II コリント 3:18。

E. 雅歌の第五段階において、キリストを愛する者は、主の働きにあずかります——雅 7:1-13 :

1. 雅歌第 7 章 11 節が示しているのは、キリストを愛する者が、一つの場所から他の場所に寄留する (村里に宿る) ことによって、彼女の愛する方と共に全世界 (野) のための働きを完成することを願っているということです。これが示しているのは、彼女が主の働きを完成することで、分派的ではなく、働きを開放し、他の人がそこに来て寄留することができ、彼女が他の所に行って寄留することができるようにするということです。これは一つからだにおける一つの働きを保つことです。
2. 主の働きにあずかることは、主と共に働くことです (II コリント 6:1 前半)。わたしたちは主と共に働くために、命における円熟を必要とし、主と一になる必要があり、わたしたちの働きは彼のからだのためでなければなりません (コロサイ 1:28-29. I コリント 12:12-27)。
3. シュラムの女はソロモンの配偶者として働き、すべてのぶどう園 (雅 8:11)、すなわち全地の諸召会と信者たちを顧みます。わたしたちは全世界のための働きを持たなければなりません。これはパウロが行なったことであり、彼は諸地方召会を設立し、それから働いて諸地方召会をキリストのからだの満ち満ちた実現の中へともたらしめました (ローマ 16:1-24)。

F. 雅歌の第六段階において、キリストを愛する者は携え上げられることを望んでいます (雅 8:1-14)。彼女は「自分の愛する方に寄りかかって」(5 節)、荒野 (地的な領域) から上って来ます :

1. 「愛する方に寄りかかって」が暗示していることは、ヤコブと同じように、彼女のもものつがいが触れられて、彼女の天然の力が主によって対処されたということです——創 32:24-25。
2. 「愛する方に寄りかかって」が暗示していることはまた、彼女が自分がひどく圧迫されているのを見いだしており、これが荒野の行程が終わるまで続くようであるということです——参照、II コリント 1:8-9. 12:9-10. 13:3-4。
3. 彼女は彼女の愛する方に、彼女を彼の愛の心に印のようにし、彼の力の腕に印のようにするように求めます。この時点で彼女は、自分には力がなく、望みもないと感じており、あらゆることが神の愛と保護する力にかかっていることを認識しています——雅 8:6-7。
4. キリストを愛する者は、キリストの園である信者たちの中に住んでいる方が、自分にキリストの声を聞かせてくださるよう求めるように求めます。これが示しているのは、わたしたちがわたしたちの愛する方である主のために働くとき、わたしたちと彼との交わりを保持し、常に彼に聞く必要があるということです—— 13 節。

II. この詩的な書の結論の言葉として、キリストを愛する者が祈り求めるのは、彼女の愛する

方が復活の力（かもしかと若い雄鹿）の中で急いで戻って来て、全地を満たす彼の甘くて美しい王国（香料の山々）を設立してくださるということです——雅 8:14. 啓 11:15. ダニエル 2:35 :

- A. そのような祈りは、花婿としてのキリストと、花嫁としての愛する者との、新婚の愛の中にある結合と交わりを描写しています。それは、キリストを愛する者であるヨハネの祈り（聖書の結論の言葉として）のようであり、彼の神聖な愛におけるキリストと召会に関する神の永遠のエコノミーを啓示しています——啓 22:20。
- B. 「主が来られる時、信仰は事実となり、祈りは賛美に置き換わります。愛は影のない完全なものとなり、わたしたちは罪のない領域で主に仕えます。それは何という日でしょう！主イエスよ、早く来てください！」——ウオッチマン・ニー。（ウオッチマン・ニー全集、第23巻、「歌の中の歌」、第6区分）。

© 2024 *Living Stream Ministry*